伊万里市立波多津小学校　永田　千晶

１　学年・単元名

第６学年

単元名「土地のつくりと変化」

２　本研究の主張点

自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍する６年男子児童への支援を行った。本児は、理科の学習を交流学級で受けており、特別支援学級担任や生活支援員が支援を行っている。語彙が乏しく、勉強への自信のなさから、自分の思いや考えを表現することに対して苦手を感じている。普段の学習において、自分の思いや考えを書く活動では、教師と対話をしながら表現している。理科の学習においては、実験や観察での気づきを自分の言葉で表現できるようになることを目指している。単元「土地のつくりと変化」は、地層や地層に含まれている物の観察を行う際、「時間的・空間的」な見方が重要になると考える。観察を行う際に、本児の能力に合わせた理科の見方や視点を提示することで、観察での気づきを自分の言葉で表現できるよう指導していきたい。

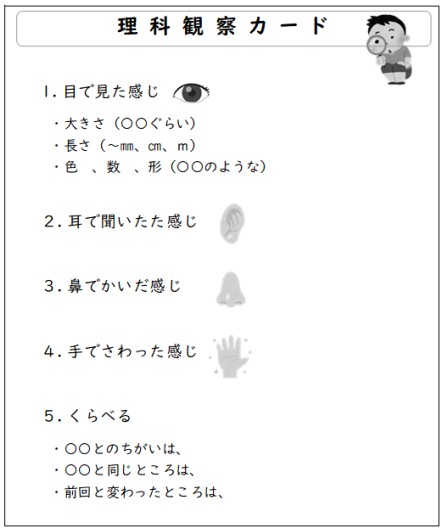
３　単元計画（全１０時間）

学習課程	主　な　学　習　活　動	時　配
第１次 土地をつくっているもの	・写真やデジタル教科書を基に土地の様子（縞模様や色の変化）について気づいたことを話し合う。	１時間
	・土地が縞模様に見えるのはどうしてかボーリング資料を基に調べる。	１時間
	・縞模様を作っている主なもの（礫・砂・泥）の観察を行い、気づいたことを出し合う。	１時間 １時間
	・写真や標本を見て化石について調べる。	１時間
第２次 地層のでき方	・地層の中に含まれている物を観察し、違いについて話し合う。	１時間
	・流れる水のはたらきによる地層のでき方について調べる。	１時間
	・火山のはたらきによる地層のでき方について調べる。	１時間（本時）
	・岩石の種類について調べる。	１時間
第３次 土地の変化	・火山活動による土地の変化について調べる。	１時間
	・地震による土地の変化について調べる。	１時間

４　本時の目標

火山灰を観察する活動において「共通性・多様性」の見方で捉え、観察したことを絵や言葉で表現することができる。

５　授業の実際

学習活動や児童の様子	指導の留意点
１　事象提示 動画を見て、火山の噴火によって火山灰や溶岩が噴き出ることを知る。	・動画を見る際に、火山が噴火するときに出てくる物に着目させることで、これから観察する火山灰への関心を高める。
２　学習課題を設定する。 火山のはたらきと地層のでき方の関係について調べよう。	・交流学級での学習課題とは別に、めあてとして、「火山灰を観察して、気づいたことを絵や自分の言葉で書こう。」を児童に伝えておく。
３　観察方法を知る。	・タブレットで観察方法をいつでも確認できるようにしておく。
４　観察を行い、絵や気づきをかく。	・「多様性・共通性」の見方で観察したり、気づきを書いたりできるように、観察カードを確認させる。  理科観察カード 1. 目で見た感じ ・大きさ（○○ぐらい） ・長さ（～mm、cm、m） ・色　、数　、形（○○のような） 2. 耳で聞いたた感じ 3. 鼻でかいだ感じ 4. 手でさわった感じ 5. くらべる ・○○とのちがいは、 ・○○と同じところは、 ・前回と変わったところは、
５　気づきを全体で話し合う。	
６　まとめ 地層は火山のふん火によってできる。地層には、角ばっているつぶの火山灰がふくまれる。	

６　考察

・交流学級の学習目標とは別に、めあてを決めて伝えておくことで、見通しをもって学習活動に取り組むことができた。
・観察カードがあることで、視点が明確になったり、自分で何を書くか選択したりすることができたので、今後、観察の活動では活用していきたい。